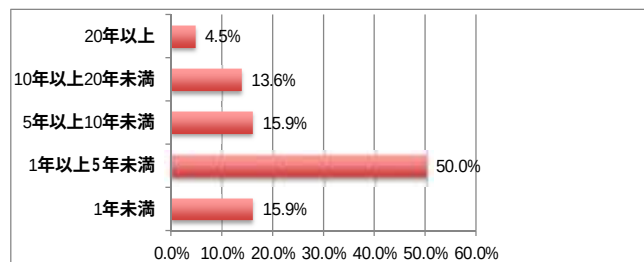


理学系学部のニーズに関するアンケート調査結果 【年度計画44】

- 実施期間：平成25年11月29日～平成26年1月10日
- 対象：愛知県内の国立・公立・私立の高校普通科（偏差値50以上）の進路指導担当教員（主任）
- 発送数：93校 回収数：44校（回収率：47.3%）
- 実施者：システム自然科学研究科

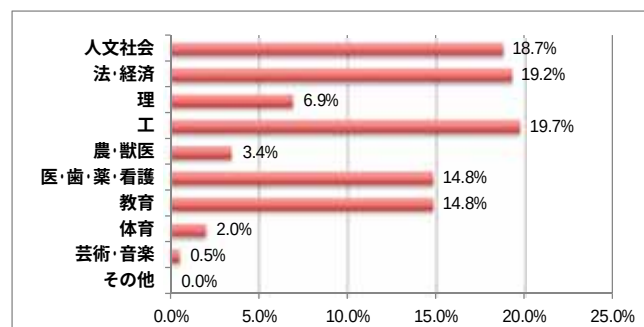
問1 進路指導の担当者（主任）としての経験年数（通算）

列1	度数	比率
20年以上	2	4.5%
10年以上20年未満	6	13.6%
5年以上10年未満	7	15.9%
1年以上5年未満	22	50.0%
1年未満	7	15.9%



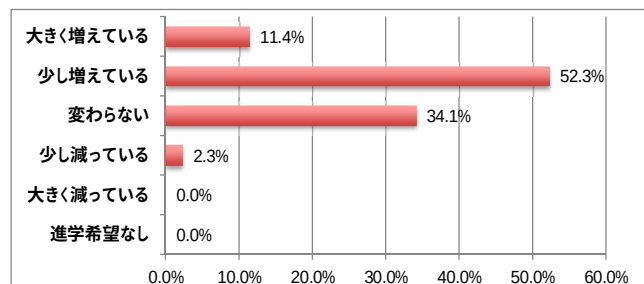
問2 進学希望が多い学部（5つまで回答）

列1	度数	比率
人文社会	38	18.7%
法・経済	39	19.2%
理	14	6.9%
工	40	19.7%
農・獣医	7	3.4%
医・歯・薬・看護	30	14.8%
教育	30	14.8%
体育	4	2.0%
芸術・音楽	1	0.5%
その他	0	0.0%



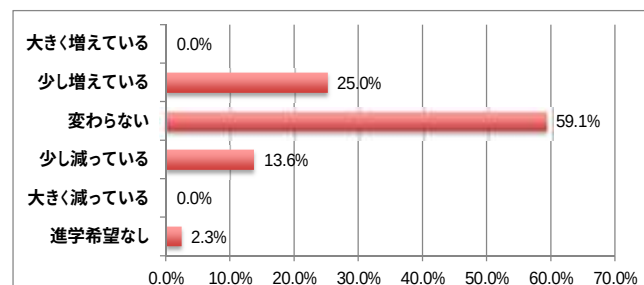
問3 進学希望分野別の近年の傾向 ・理学系学部

列1	度数	比率
大きく増えている	5	11.4%
少し増えている	23	52.3%
変わらない	15	34.1%
少し減っている	1	2.3%
大きく減っている	0	0.0%
進学希望なし	0	0.0%



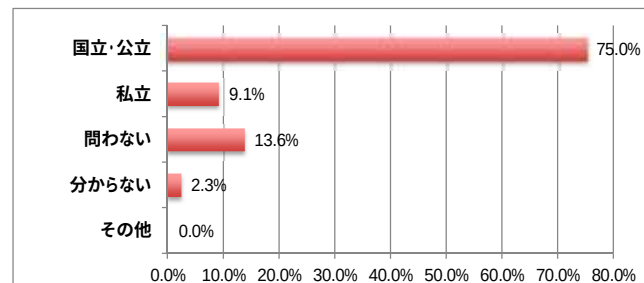
・理学系学部

列1	度数	比率
大きく増えている	0	0.0%
少し増えている	11	25.0%
変わらない	26	59.1%
少し減っている	6	13.6%
大きく減っている	0	0.0%
進学希望なし	1	2.3%



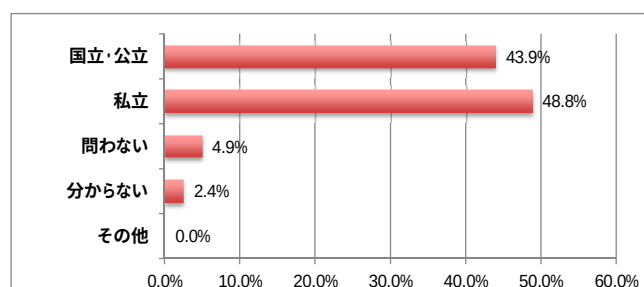
問5 理学系4年生大学進学希望の生徒が希望する設置形態

列1	度数	比率
国立・公立	33	75.0%
私立	4	9.1%
問わない	6	13.6%
分からない	1	2.3%
その他	0	0.0%



問5-1 実際に進学する生徒が多い設置形態

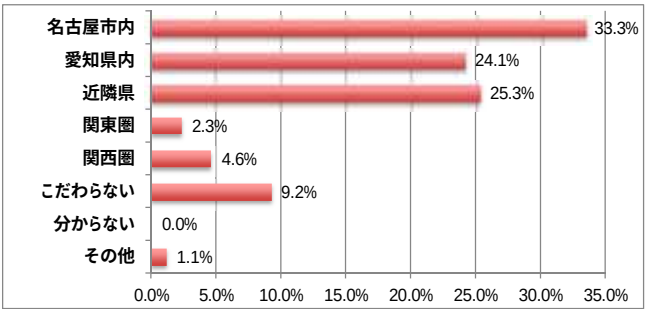
列1	度数	比率
国立・公立	18	43.9%
私立	20	48.8%
問わない	2	4.9%
分からない	1	2.4%
その他	0	0.0%



理学系学部のニーズに関するアンケート調査結果

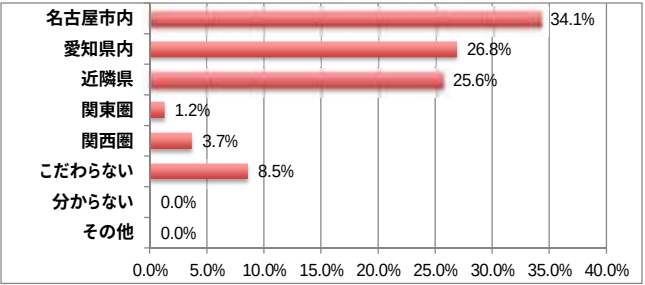
問6 理学系4年制大学進学希望の生徒が希望する進学先 (地域)

列1	度数	比率
名古屋市	29	33.3%
愛知県内	21	24.1%
近隣県	22	25.3%
関東圏	2	2.3%
関西圏	4	4.6%
こだわらない	8	9.2%
分からない	0	0.0%
その他	1	1.1%



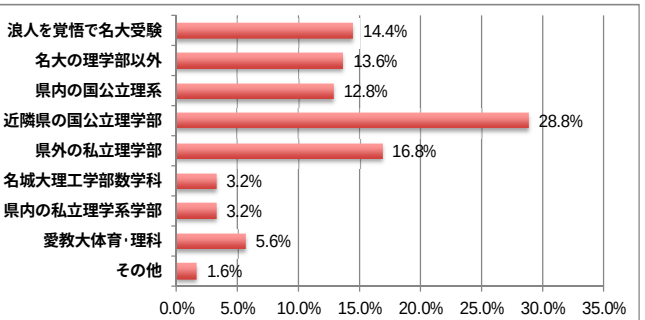
問6-1 実際に進学する生徒が多い進学先 (地域)

列1	度数	比率
名古屋市	28	34.1%
愛知県内	22	26.8%
近隣県	21	25.6%
関東圏	1	1.2%
関西圏	3	3.7%
こだわらない	7	8.5%
分からない	0	0.0%
その他	0	0.0%



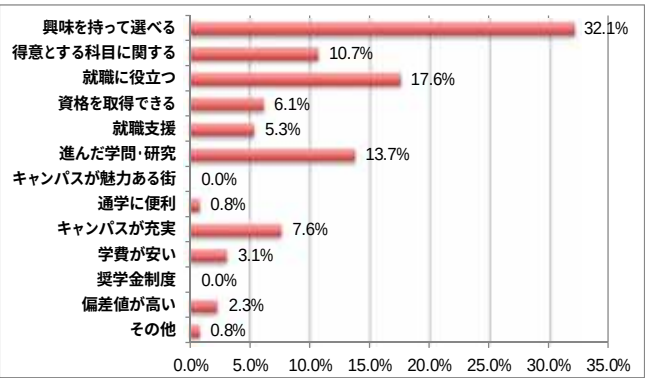
問7 名大理学部受験に満たないレベルの生徒に勧める対応 (3つまで回答)

列1	度数	比率
浪人を覚悟で名大受験	18	14.4%
名大の理学部以外	17	13.6%
県内の国公立理系	16	12.8%
近隣県の国公立理学部	36	28.8%
県外の私立理学部	21	16.8%
名城大理工学部数学科	4	3.2%
県内の私立理学系学部	4	3.2%
愛教大体育・理科	7	5.6%
その他	2	1.6%



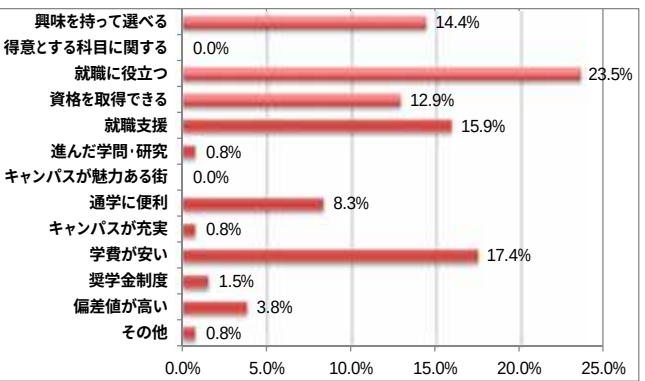
問8 生徒が大学を選択する際の重視して指導する点 (3つまで回答)

列1	度数	比率
興味を持って選べる	42	32.1%
得意とする科目に関する	14	10.7%
就職に役立つ	23	17.6%
資格を取得できる	8	6.1%
就職支援	7	5.3%
進んだ学問・研究	18	13.7%
キャンパスが魅力ある街	0	0.0%
通学に便利	1	0.8%
キャンパスが充実	10	7.6%
学費が安い	4	3.1%
奨学金制度	0	0.0%
偏差値が高い	3	2.3%
その他	1	0.8%



問9 生徒の保護者が重視していると思われる印象 (3つまで回答)

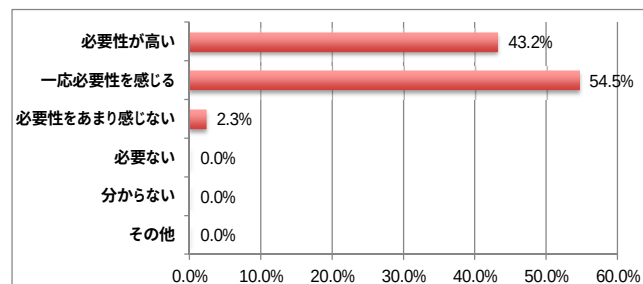
列1	度数	比率
興味を持って選べる	19	14.4%
得意とする科目に関する	0	0.0%
就職に役立つ	31	23.5%
資格を取得できる	17	12.9%
就職支援	21	15.9%
進んだ学問・研究	1	0.8%
キャンパスが魅力ある街	0	0.0%
通学に便利	11	8.3%
キャンパスが充実	1	0.8%
学費が安い	23	17.4%
奨学金制度	2	1.5%
偏差値が高い	5	3.8%
その他	1	0.8%



理学系学部のニーズに関するアンケート調査結果

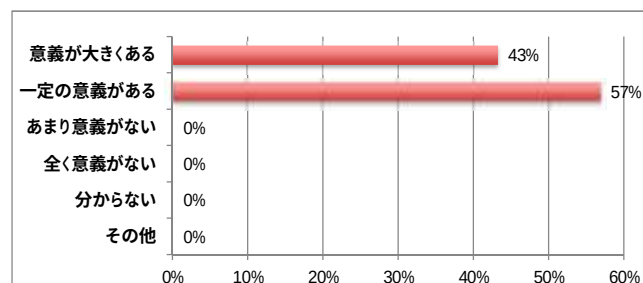
問10-1 愛知県内における理学系学部の設置の必要性はあるか

列1	度数	比率
必要性が高い	19	43.2%
一応必要性を感じる	24	54.5%
必要性をあまり感じない	1	2.3%
必要ない	0	0.0%
分からない	0	0.0%
その他	0	0.0%



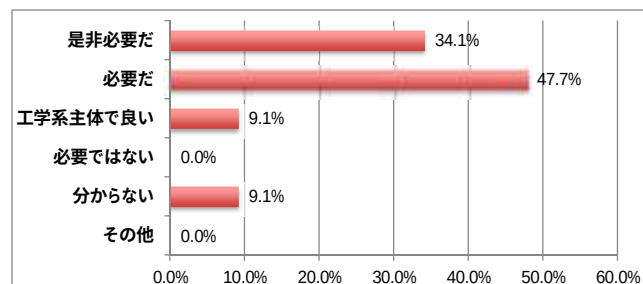
問10-2 愛知県内の理学系学部へ進学する意義はあるか

列1	度数	比率
意義が大きくある	19	43%
一定の意義がある	25	57%
あまり意義がない	0	0%
全く意義がない	0	0%
分からない	0	0%
その他	0	0%



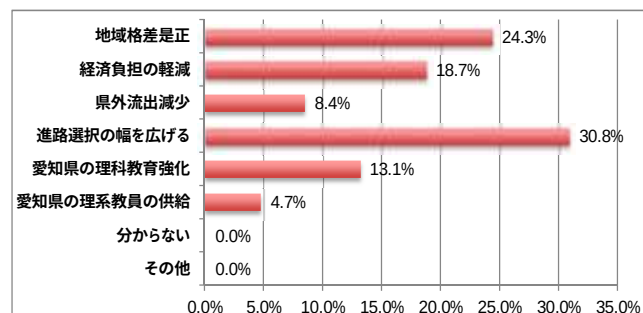
問10-3 愛知県内の理学系学部の新設の必要性はあるか

列1	度数	比率
是非必要だ	15	34.1%
必要だ	21	47.7%
工学系主体で良い	4	9.1%
必要ではない	0	0.0%
分からない	4	9.1%
その他	0	0.0%



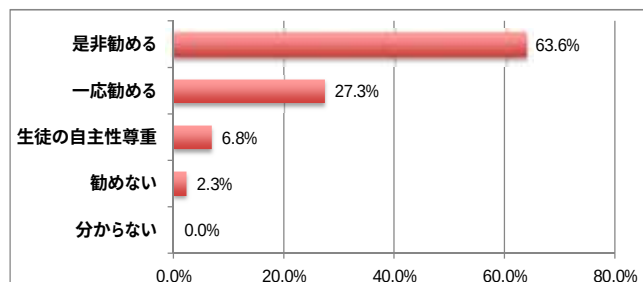
問10-3-1 10-3で「是非必要だ」「必要だ」と答えた理由

列1	度数	比率
地域格差是正	26	24.3%
経済負担の軽減	20	18.7%
県外流出減少	9	8.4%
進路選択の幅を広げる	33	30.8%
愛知県の理科教育強化	14	13.1%
愛知県の理系教員の供給	5	4.7%
分からない	0	0.0%
その他	0	0.0%



問11 名古屋市大が設置された場合に受験を勧めるか

列1	度数	比率
是非勧める	28	63.6%
一応勧める	12	27.3%
生徒の自主性尊重	3	6.8%
勧めない	1	2.3%
分からない	0	0.0%



名古屋市立大学 理学系学部のニーズに関するアンケート調査結果

問 12 愛知県内における理学教育の充実について、大学の教育内容・活動等についてのご意見

【理学部の設置について】

- ・理学部設置大学が少ないという状況の中で、ぜひ開設していただきたいと思います。(県立)
- ・ぜひ早急に理学系学部を設置してほしい。200万都市名古屋にふさわしい総合大学へ発展していてほしいです。(県立)
- ・本校での進路指導において、中部圏の理学系の学部の少なさは毎年話題となります。名市大に新設されるのであれば、選択の幅も広がり喜ばしいことです。内容は流行のものではなく今後発展していく研究があれば生徒たちも魅力を感じると思います。(市立)
- ・生化学を志望している人が多い。論文にうもれるよりも、メディアへの情報提供の方が受験生は集まる。(無回答)
- ・現在の所、本校の理学部希望者は多くありませんが、名市大に理学部ができれば、理学部希望者の人数自体が増加すると思われますので、是非設置する方向での検討をお願いします。(県立)
- ・実学を重視する気質の県ではありますが、子どもに夢を与えるような研究ができる理学部を目指してください。屈指のプラネタリウムを備えた名古屋市科学館とコラボして、宇宙物理学を看板にするなど、いかがでしょうか。名市大理学部が軌道に乗れば、愛知県の高校生の理学部希望者は増えると思います。(県立)
- ・愛知県内には、教員養成系を除けば、理学部を有する大学は名古屋大学のみである。全国に誇る“モノづくり”圏として工学部の充実はもちろん大事であるが、地道な基礎研究の場としての理学部も重要である。科学技術の発展に工・理は両輪である。ぜひとも貴学に理学部が設置され、近い将来、名古屋大学と連携して県の理学研究を盛り上げてほしい。わざわざ県外に出ることなく、地元で進学できるのであれば、生徒・保護者にとって好都合であるとともに、(名市大のレベルがわかるので)貴学受験レベルの優秀な頭脳の流出もくいとめることができる。そして、卒業者が中・高の教員として活躍すれば、県内の理科教育レベルの底上げにつながると考える。(私立)
- ・是非理学系学部を作ってください。応援したいと思っております。(県立)
- ・県内に栄養・生物資源系が無いのでぜひ作ってほしい。(県立)
- ・理工・工に対し理学部が少なく基礎研究の不足を感じる。土地柄として工に傾きがちだが、名古屋大以外の国公立選択肢がふえることはよいことだ。(市立)
- ・国公立大学理学系学部への要望
 1. 大学院への進学、工学系学部への編入学の拡充
純粋な知的好奇心が旺盛な学生が理学部を志望する印象がある。(同時に、細分化された学科を選べない)入学2年後、4年後に自己の志向を見極めて進路選択できるとよい。
 2. 教員免許取得可能な範囲の拡大
中等学校の数学・理科の教員免許を取得できるようにしてほしい。学年にとって進路選択の幅が広がるだけでなく、学生時代に自然科学を学んだ教員が数学を教えるとき、その美しさ・楽しさだけでなく、有用性についても具体的に語ることができるであろう。各大学において、学部間の風通しを良くすることにより実現させていただきたいと望む。(工学部における数学・理科の免許についても同様。)(県立)

【工学部との対比について】

- ・愛知県内に理学系学部が少ないことは、以前から問題ありと思っていましたので、名市大に設置されることは賛成です。ただメーカーが多い地域性を考えると、工学部の方が就職に有利という意識が保護者・生徒ともに定着しており、設置にあたっては、就職指導の充実と広報・広聴活動の必要性は感じます。(県立)
- ・理学部で行う基礎研究は自然科学の発展に関わる重要な研究であると思います。そういう意味では、地元に理学部が新設されることは大変すばらしいことで、新設されれば、人気は高いと思います。しかし、工学部が企業との共同研究をさかんに行っており、就職に関して言えば、最先端の研究を行っている企業への研究職としての採用が多いことと比べると、いかにも理学部は地味で、生徒たちはどうしても工学部に目が行きがちではないかという印象を持っています。(無回答)
- ・ものづくりに関連する農学や工学、教員養成のイメージの強い教育学の理科専攻、こういった中での理学の差別化がうまくできないと志願者増にはつながらないと思います。将来展望を持たせたうえでの進路指導を考えると、教員以外にどんな活躍の場が実際にあるのか、研究内容が就職に結びつくのかイメージさせることがとても難しい感じがします。文学が大学で身に付けた内容とは無関係な分野へ進まざるを得ないのと同様かが問題です。文学が語学にシフトすることで細々と生き延びている様子がありますが、理学もシフトの必要があるのではないでしょうか。(私立)
- ・最近の理高文低の傾向から、理系学部が増えることは喜ばしいことである。しかし、理学部と工学部をあえて区別する必要は感じられない。今回のアンケートに答える中で感じたことは、アンケートが“理学”に強くこだわっているように見受けられたことである。答えにくかったのは、私大については、純粋に“理学部”とうたっている大学は少ないが、実質的には理学研究をしているところもあることだ。自分自身も「理学士」であり「工学士」や「教育学士」ではないことに、一種の満足感を持つ身であるが、現状の大学を見た時、あるいは生徒たちからの見え方において、理学と工学をことさら分類する必要はないと思う。また、保護者や生徒の意識を伺うに、自然科学への探求心に燃えて理系人気になっているというよりは、ものづくり日本としてエンジニアになるために理系に希望が集まっているように感じられる。「理学部」人気があるとすれば、女子の大学進学率の増加で、工学を“キタナイ”と思う女子生徒が理学を求めているからだと思う。いずれにせよ、理系の枠が拡大することは歓迎であり期待したい。以前に、片山詔久先生の研究室を訪問させていただいた際、学部が存在しないことに驚きました。是非設置にご尽力ください。(国立)

【教育・研究について】

- ・現在、本校から理学系学部へ進学する生徒のほとんどは大学院へ進むことを念頭においている。したがって、新規に理学系学部が設置される場合には大学院への進学というニーズを満たす必要がある。当然、研究内容、施設、指導教官にも、それなりの質の高さが求められる。「名古屋市立大学」という名前や、「地元の大学」ということで選択するわけではない。(県立)
- ・理学系学部を設置する際、実験施設、スタッフを充実させて下さい。まず設置ありきですと、学生は集まるかもしれませんが、目的を達成できないまま卒業する学生が増えると思います。また、設置する場合、数学、物理、化学、生物、地学系の学科すべてがあることが望ましいと考えています。(県立)

【その他】

- ・名古屋市立高校に推薦枠を設けてもらいたい。(地元枠があれば、生徒に勧めやすい)(市立)

名古屋市立大学 理学系学部のニーズに関するアンケート調査

このアンケートは、名古屋市立大学における理学系学部の設置について検討するため、高校の進路指導担当の方のご意見等をお聞きして愛知県内の理学系学部のニーズを調査するものですので、ご協力をお願いします。

なお、このアンケートの結果は、上記の方策を検討するために用い、この目的以外に利用することはありません。

回答は設問の順に該当する番号に○をつけ、その番号を回答欄に直接記入してください。

【回答欄】

問1 進路指導担当（主任）としての経験年数（通算）についておたずねします。

- 1 20年以上 4 1年以上5年未満
2 10年以上20年未満 5 1年未満
3 5年以上10年未満

問2 貴校の生徒に進学希望が多い学部はどれですか。以下の分野の中から該当する番号を5つまでお答えください。

1 人文社会学部	5 農・獣医学部	8 体育学部
2 法・経済学部	6 医・歯・薬・看護学部	9 芸術・音楽学部
3 理学部	7 教育学部	10 その他
4 工学部		

問3 貴校の生徒の進学希望分野について、近年の傾向をおたずねします。回答欄に該当する1～6の番号のいずれかをご記入ください。

- 1 進学希望が大きく増えている 4 少し減っている
2 進学希望が少し増えている 5 大きく減っている
3 かわらない 6 もともと進学希望者がほとんどいない

分 野	回答（1～6の いずれかの番号）
理系学部 (工学部・情報学部・農学部・獣医学部・医(歯)学部・薬学部・看護学部・家政学部・栄養学部 等)	
理学系学部 (理学部・理工学部のうち 自然科学系の学部 等)	

一次頁にお進みください

卒業年月	卒業者数	大学進学者数 (うち県内進学者数)	理学系 ^{※1} 進学者数 (うち県内進学者数)
平成25年3月卒業		()	()
平成24年3月卒業		()	()
平成23年3月卒業		()	()

* 当該年度の卒業者の進学状況を記載してください。(例 H24.3 卒業、H25.4 大学入学した場合、
H24.3 卒業者の大学進学者数としてカウントしてください)

- 1 国立・公立
2 私立
3 国立・公立・私立を問わない
4 わからない
5 その他（ ）

- 問 5-1 実際にはどの設置形態に進学する生徒の数が多いですか。上記の番号を使ってお答えください。

- | | | |
|-----------------------|-----------------|-----|
| 1 名古屋市内 | 6 特に地域にこだわっていない | 第1位 |
| 2 名古屋市外の愛知県内 | 7 まだわからない | |
| 3 近隣県（岐阜、三重、静岡、石川、長野） | 8 その他（具体的に | 第2位 |
| 4 東京・横浜など関東圏 | | |
| 5 大阪・京都など関西圏 | | |

- 問 6-1 実際にはどの地域に進学する生徒の数が多いですか。上記の番号を使って多い順番に2つの地域をお答えください。

問7 生徒が名古屋大学理学部の受験を希望しているが学力レベルがその希望に沿えないと考えられる場合、その生徒にはいずれの大学・学部の実験を勧めるか、主なものに3つ選んでください。

- 1 再受験を覚悟させた上で名古屋大学理学部
- 2 理学部以外の名古屋大学の他の理系学部
- 3 県内の国公立の理学部以外の理系学部
- 4 近隣県（静岡、石川、長野）の他の国公立の理学部
- 5 近隣県を除く県外の国公立の理学部
- 6 県外の私立理学部
- 7 名城大学理工学部数学科
- 8 愛知教育大学教育学部の理科教育
- 9 その他（具体的に）

問8 生徒が大学を選ぶ際、どのようなことを重視するよう指導されていますか。次の中で重要だと思うものを3つ選んでください。

- 1 興味を持って学べる分野・学科がある
- 2 得意とする科目に関する分野・学科がある
- 3 将来の就職に役立つことが学べる分野・学科がある
- 4 仕事に関連する資格を取得できる分野・学科がある
- 5 就職支援が充実している
- 6 進んだ学問・研究が行われている
- 7 キャンパスが魅力ある街に立地している
- 8 通学に便利な場所に立地している
- 9 キャンパスの施設・設備が整っている
- 10 入学金、授業料等の学費が大きな負担にならない
- 11 奨学金制度が充実している
- 12 偏差値・難易度が高い大学である
- 13 その他（具体的に）

問9 受験大学を決める際に、生徒の保護者は何を重視している印象をお持ちですか。次の中で重要だと思うものを3つ選んでください。

- 1 興味を持って学べる分野・学科がある
- 2 得意とする科目に関する分野・学科がある
- 3 将来の就職に役立つことが学べる分野・学科がある
- 4 仕事に関連する資格を取得できる分野・学科がある
- 5 就職支援が充実している
- 6 進んだ学問・研究が行われている
- 7 キャンパスが魅力ある街に立地している
- 8 通学に便利な場所に立地している
- 9 キャンパスの施設・設備が整っている
- 10 入学金、授業料等の学費が大きな負担にならない
- 11 奨学金制度が充実している
- 12 偏差値・難易度が高い大学である
- 13 その他（具体的に）

[ここからは愛知県の大学の理学系学部の一歩についておきします]

問 10 愛知県における大学進学者は地元大学への進学する割合が高いにもかかわらず、理学系学部の入学定員に限ってみると愛知県の全定員に対する割合は、全国平均の 15.1%に対してわずか 6.1%となっています。これは、理学系学部の入学定員が全国平均のわずか 40%と著しく低いことを示しています(別紙参照)。同じ理系の工学系学部の 117%と比べると、この低い割合は際立っています。そこで、愛知県において理学系学部の学生定員数の少ない現状を踏まえて、お尋ねします。

問 10-1 愛知県内における理学系学部の社会的必要性について

- | | |
|------------------|------------|
| 1 社会的必要性の高い分野である | 4 必要性はない |
| 2 一応、社会的必要性を感じる | 5 わからない |
| 3 あまり必要性を感じない | 6 その他(具体的に |

)

問 10-2 愛知県内の理学系学部への高校生の進学の意義について

- | |
|--------------------------|
| 1 このような分野に高校生が進学する意義は大きい |
| 2 一定の進学する意義がある |
| 3 あまり進学する意義を感じない |
| 4 まったく進学の意義を感じない |
| 5 わからない |
| 6 その他(具体的に |

)

問 10-3 愛知県内の理学系学部の新規設置について

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1 新規設置は是非必要だ | 2 新規設置は必要だ |
| 3 この地区の理系学部は工学系学部が主体でよい | |
| 4 必要でない | 5 わからない |
| 6 その他(具体的に | |

)

問 10-3-1 上記の設問で 1 又は 2 の新設が必要と回答された方
その理由を 3 つまでお答えください。

- | | |
|----------------------------|--|
| 1 愛知県の理系学部の増大(地域格差是正) | |
| 2 理系学部進学者の経済的負担の軽減 | |
| 3 理系学部進学者の県外流失の減少 | |
| 4 愛知県の理系学部進学希望者の進路選択の幅を広げる | |
| 5 愛知県の理科教育の強化につながる | |
| 6 愛知県の高等学校の理系教員の供給源として | |
| 7 わからない | |
| 8 その他(具体的に | |

)

[ここからは名古屋市立大学についておきします]

問 11 名古屋市立大学に理学系学部が設置されたと仮定した場合、名古屋大学理学部や県外の理系学部進学希望の生徒に対して、選択肢の一つとして受験を検討することをすすめますか。次の中から一つだけ選んでください。

- | |
|-----------------|
| 1 ぜひ検討することをすすめる |
| 2 一応検討することをすすめる |
| 3 生徒の自主性にまかせる |
| 4 検討をすすめる指導はしない |
| 5 わからない |

問 12 愛知県内における理学教育の充実について、ご意見・ご要望がありましたら次の頁にご自由にお書きください。その他、大学の教育内容・活動等についてご希望があれば、あわせてご記入下さい。

ご意見・ご要望

学校名： _____ 高等学校 担当者氏名： _____

※学校名・担当者氏名は、差し支えなければご記入ください。

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

(別紙)

(1) 愛知県における大学進学動向の特徴

- ① 大学進学率が高い（全国 9 位）。
- ② 地元大学への進学志向が強い（大学収容率(県内 18 歳人口に対する県在大学入学者数) 全国 5 位、大学残留率(県内の大学進学者数に占める自県内出身者の割合)全国 1 位）。
- ③ 周辺県等からの大学進学需要を受け入れている（県内大学の入学者数が県内の大学進学者数を上回っている(全国 6 位)）。

〔大学進学動向（平成 20 年度）〕

区分	18 歳人口 (人) A	大学進 学者数 (人) B	自県内 進学者数 (人) C	県内大学 入学者数 (人) D	①	②		③
					進学率 B/A	収容率 D/A	残留率 C/B	周辺流入 D/B
愛知県 (順位)	69,254	35,063	24,995	40,894	50.6 % (9)	59.0 % (5)	71.3 % (1)	116.6 % (6)
全国	1,237,294	607,159	250,101	607,159	49.1 %	49.1 %	41.2 %	100.0 %

(2) 愛知県内の大学における専門分野の傾向

- ・ 全体としては全国平均を上回るものの、理学系分野が全国平均の 40%程度と著しく低い。

〔18 歳人口千人あたり専門分野別入学定員（平成 20 年度）〕

	家政	芸術	教育	人文 科学	工学	社会 科学	保健	農学	理学	その他	計
全国 A (人)	12.7	14.6	30.2	70.7	74.3	161.6	42.2	12.8	15.1	26.6	460.9
愛知県 B (人)	26.6	23.3	46.5	98.0	86.9	180.8	41.2	10.3	6.1	35.9	555.7
割合 B/A (%)	209.4	159.6	154.0	138.6	117.0	111.9	97.6	80.5	40.4	135.0	120.6

県内 50 大学（国立 4 校、公立 4 校、私立 42 校）のうち、理学分野を設置する大学は 3 校（国・公・私各 1 校）で、うち情報・理工の学際分野を除く理学部は名古屋大学理学部 1 校のみ。

〔県内の理学分野設置状況(平成 20 年度)〕

大学名	学部名	学科名
名古屋大学	理学部	数理学科、物理学科、化学科、 生命理学科、地球惑星科学科
	情報文化学部	自然情報学科
愛知県立大学	情報科学科	地域情報科学科
名城大学	理工学部	数学科

【年度計画47】

平成25年度教養教育における研究授業 実施状況

実施期	科目名	実施日	担当教員 (所属)	参観者数
前期	基礎生物学	H25. 6. 17	湯川 泰 教授 (システム自然科学研究科)	11名
	人間性の探究1	H25. 6. 21	古賀 弘之 准教授 (人間文化研究科)	6名
後期	有機化学	H25. 10. 29	桑江 彰夫 教授 (システム自然科学研究科)	11名

研究授業実施のお知らせ



平成25年度より、名古屋市立大学の教育力向上に向けたFD（ファカルティ・ディベロップメント）の取組みの一環として、「研究授業」を実施いたします。これは、教養教育において参考となる授業を他の教員に公開し、相互に授業の改善を図ることを目的とした試みです。

本学での実施第一回目となる平成25年度前期研究授業実施科目については、『授業についてのアンケート』の前年度の評価をもとに、教養教育科目別部会長の先生方に選定をいただいたきました。その結果、平成24年度前期のアンケート結果で高い評価を得た教養教育科目の中から、「基礎生物学」（システム自然科学研究科 湯川 泰教授）と「人間性の探求1」（人間文化研究科 古賀弘之准教授）の2科目が、実施科目として選ばれました。

上記2科目の参観をご希望の方は、下記の申込方法に従ってお申し込みください。



〔実施日程・教室〕

➤ 平成25年6月17日（月曜・1限）2号館401教室

「基礎生物学」（担当：湯川 泰 教授）

➤ 平成25年6月21日（金曜・3限）2号館401教室

「人間性の探求1」（担当：古賀 弘之 准教授）

〔対象〕名古屋市立大学専任教員

〔申込方法〕参観をご希望の方は、以下（1）～（3）の項目を明記の上、メールで教務企画室宛（kyoumu_kikaku@sec.nagoya-cu.ac.jp）にお申し込みください。

（1）希望科目名（複数可）

（2）所属・補職

（3）氏名

※その他、ご質問等がありましたら併せてご記入ください。

〔申込期限〕各科目とも、それぞれ研究授業実施日の一週間前まで受付けます。

◆◆参観に関するお願い◆◆

- ☆ 授業の妨げになりますので、遅刻及び途中退出は固くご遠慮願います。
- ☆ 参観後、研究授業に関するアンケートを提出していただきます。

ご協力くださいますようお願いいたします



はじめに

名古屋市立大学教育支援センター長 神山 眞一

教育支援センターは、本学の全学的なFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動に加えて、学生に対する学習支援および教員に対する教育支援の取り組みについて、責任をもって実施する組織として平成23年4月に開設されたものです。

教育支援センターの事務局を担う教務企画室は、当初、室長1名と職員2名の計3名でしたが、本年4月からは室長1名、係長1名と職員3名の計5名となり、体制が整いつつあります。

教育支援センターの業務はゼロからのスタートでしたが、他大学の例等を参考に、順次業務を拡大してきました。しかし、教育支援センターに期待される事務が非常に多いことを実感しており、期待を裏切らないように努力を重ねてまいります。

教育支援センターに関連した各種情報は、教育支援センター運営委員会を通じて、各部署にお知らせしていますが、委員会のみではお知らせしきれない部分も多々あることから、このたび、教育支援センターが中心となって実施した事業の業務報告、本学での教育活動において参考になるであろうと考えられる情報の提供および大学教育改革等に関する各種情報の提供を目的として、本学全教員等を対象に「教育支援センターNEWS」を発行することとしました。

文部科学省の中央教育審議会大学分科会においては、大学の教育改革に関する議論が積極的に行われ、そこでまとめられた方針は、我が国のすべての大学が実施すべき事柄として、文部科学省からの通達として指示されます。指示内容に合わせて、そのような指示が出された背景等についても本NEWSで紹介していきたいと考えております。

～目次～

はじめに(教育支援センター長からのメッセージ)	
研究授業実施のお知らせ	2 ページ
平成25年度新入生合同ガイダンスを開催しました	3 ページ
新任教員研修会を実施しました	4 ページ

平成25年度新入生合同ガイダンスを開催しました

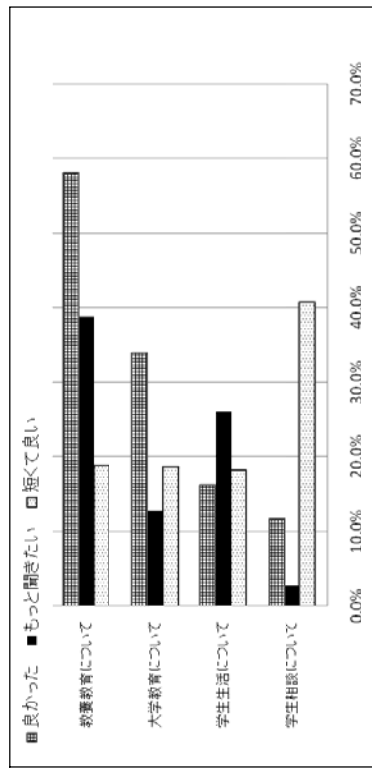


平成25年4月5日、名古屋国際会議場センチュリーホールにて、平成25年度新入生合同ガイダンスを開催しました。本年度は、入学式に引き続き行われ、戸荻学長訓話の後、神山副学長による「大学教育について」、吉田学長補佐による「教養教育について」、田形学生相談室相談員による「学生相談について」、学生課による「学生生活について」を含む、約2時間のガイダンスが滞りなく行われました。

また、新入生へのアンケート調査結果では、教養教育についての説明をもっと聞きたいという声が多く寄せられ、より充実したガイダンスの実施に向けた今後の検討課題となりました。

《新入生合同ガイダンスアンケート 集計結果》
ガイダンス出席者数：870名（入学者数870名）
アンケート回収枚数：843枚

Q. プログラムについて（複数回答可）



新任教員研修会を開催しました



平成25年4月11日(木) 16時30分から約1時間半、本部棟2階第1会議室にて平成24年5月1日から平成25年4月1日までに採用された教員を対象とする平成25年度新任教員研修会が開催されました。

本研修会では、「名古屋市立大学の現状と将来」というテーマのもと神山副学長による講演が行われ、各研究科・学部からの教員24名が参加しました。最後に行ったアンケートにおいては、参加者の多くが「参加した意義があった」と回答しており、大変有意義な研修となりました。

《当日の主な講演内容》

■名古屋市立大学の現状と将来

- ①名古屋市立大学の概要について
組織・予算・管理運営体制 等
- ②名古屋市との関係について
名古屋市より「運営費交付金」（平成25年度約65億円）、「施設整備補助金」（平成25年度約4億7千万円）
- ③法人の評価について
 - ・中期目標—6年間にわたり本学が達成すべき業務運営に関する目標で、市長が定めたもの
 - ・中期計画—中期目標を達成するための計画
 - ・年度計画—中期計画の実現に向けて、年度ごとに実施すべき事項をまとめたもの
 - ・法人評価委員会—年度計画に係る業務の実績に関する評価、中期目標に係る業務の実績に関する評価を実施
- ※認証評価—「法人評価」とは別に、文部科学大臣が認証する評価機関の実施する評価を受けることが義務付けられている
- ④大学教育について
 - ・授業評価アンケート
 - ・定期試験及び定期試験に代わるレポート課題における不正行為に対する処分に関する指針 等

※対象者に配布しました「新任教員研修マニュアル（PDF ファイル）」は下記ページでご覧いただけます。全ての教職員の方に参考にしていただける内容となっておりますので、是非ご覧ください。

本学HPイントラサイト（教職員限定情報）：教務情報＞F D＞新任教員研修
<https://intra.nagoya-cu.ac.jp/intra/secure/2532/manual2013newteacher.pdf>

★ご意見・ご要望などございましたら、教育支援センターまでお寄せください。

名古屋市中区瑞穂町字山の畑1
名古屋市立大学 教育支援センター
電話：(052)872-5804
Email: kyounu_kitaku@sec.nagoya-cu.ac.jp
Web: <http://esc.adm.nagoya-cu.ac.jp/>
＜教育支援センターNEWSは隔月発行予定です。＞

課外活動団体による社会貢献活動

【年度計画53】

活動団体	日時	概要	学生課による支援
学生サークル 「メルシー」	8月20日、21日、22日、 26日、27日、28日	本学臨床シミュレーションセンターが実施する救命講習会に毎回スタッフとして参加し、 受講者にAED機器の使い方を教えた。 教職員71名、主に課外活動団体から集まった学生104名が受講するものとなった。	受講学生の募集
課外活動団体 「博物館サポーターMARO」	8月3日、4日	名古屋市博物館夏祭りにおいて自主企画を行い集客に貢献した。 (自主企画内容: ナイトミュージアム、ろうそくの天の川、七夕かざり) 計2,430名余の入場者があった。	教職員・学生に参加の呼びかけ、 学生へのボランティアスタッフとしての参加
本学課外活動団体 「硬式テニス部」	11月1日	名古屋市瑞穂グラウンドデニスコートにおいて、 市民向け「デニスワンポイントアドバイス」を実施した。 市民3名が参加した。	瑞穂グラウンドと学生との連絡調整
本学課外活動団体 「茶華道部」	10月6日、12日、13日	徳川美術館「徳川茶会」において、運営に協力した。 3日間に各4名の部員が参加した。	徳川美術館と学生との連絡調整
本学課外活動団体 「日本拳法部」(空手部) 「柔道部」(剣道部) 「水泳部」(バドミントン部)	9月27日、11月8日 11月22日、12月5日 3月28日	地域主催「地域防犯パトロール」に参加した。 9月27日御剣学区11名参加、11月8日堀田学区4名参加、11月22日御剣学区14名参加、 12月5日堀田学区9名参加、3月28日御剣学区3名参加。	主催者との連絡調整、 夜間パトロール用ベストの提供、 参加学生の募集
本学課外活動団体 「デラ☆FT」	11月25日～12月6日 12月10日	フィリピン台風被害に対する募金活動(日本赤十字社の救援活動への募金)を行った。 この活動は多くのサークルの協力を得て全キャンパスに拡大した。 滝子キャンパスで11月19日、20日、12月3日実施、 川澄キャンパスで12月4日医薬看護球部の協力を得て実施、 北千種キャンパスで12月4日演劇部、映像研究会の協力を得て実施、 田辺通キャンパスで12月6日東洋医学研究会、オーケストラ部、 ヒップホップカフェ、ダンス部カリクレインの協力を得て実施、 他国際交流推進センターの常設募金箱を11月25日～12月6日まで設置した。 12月10日「デラFT」メンバーが日本赤十字社愛知県支部を訪問し 集まった募金を直接手渡した。 フェアトレードの普及活動のため、 生協にてフェアトレードチョコ等の販売と数多くの学生へのPRを行った。 鶴舞中央図書館で、子供たちを対象に外国語や外国の人に親んでもらうため、 母国語による絵本の読み聞かせ会を実施した。	教職員・学生への募金の呼びかけ、 多くの課外活動団体への協力勧奨、 募金手渡しにあたっての 日本赤十字社と学生との連絡調整
本学課外活動団体 「デラ☆FT」			
本学留学生			
課外活動団体 「オーケストラ部」		瑞穂区まちなかコンサートに参加し、博物館ロビーにて演奏を行った。	

今、わたしたちができること

～ESD で叶う幸せな未来の作り方～



名古屋市立大学
コラボレーション企画!



Special thanks to...

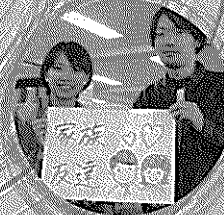
Dragons



Special thanks to...

Champions

Q. 未来に残したい
大切なものは?

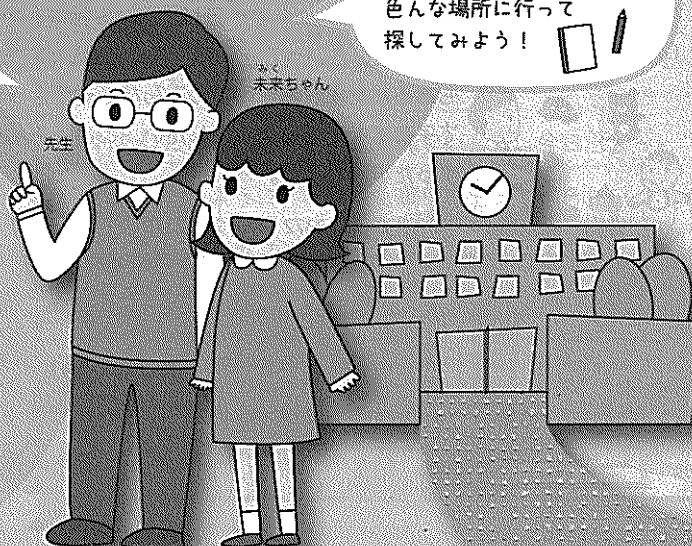


ESD とは?

今、みんなは幸せ? 先生は今とっても幸せ。でもわたしたちに見えない場所では様々な問題があるんだよ。自然が破壊されたり、ご飯をおなかいっぱい食べられない人達がいたり、一人ぼっちで苦しんでいる人がいたり…。このままじゃいけない。今のわたしたちだけじゃない、未来の子どもたちも幸せにしたいんだ。そんな願いを叶えるのが ESD。

ESD は「Education for Sustainable Development」の略で、環境・社会・経済のバランスがとれた社会を次世代につなげるための「学びあい」「人づくり」という意味。何だか難しそうだね。でもね、本当はもっと身近なことなんだ。まず身近なところから「あれ? おかしいな」「もっとこうなったらいいのに」と『気づく』ことが大切だね。そして社会で起きている問題を『知る』。小さなことからでいい、自分が出来ることから『行動する』。そうしていくことで、たくさんの世界を知り、人とのつながりがどんどん『広がる』。みんなと一緒に幸せな未来を目指して行動してつながっていくこと、それが ESD。

ESD の種は
どんなところにあるのかな?
色々な場所に行って
探してみよう!



ESDと大学2

持続可能な地域社会のために

名古屋市立大学人文社会学部は、2013年度よりESD (Education for Sustainable Development) を教育研究の柱とする学部生まれ変わりました。私たちはESDを「豊かで人間らしい生き方のための持続可能な地域社会と地球社会をつくるための教育」と考えています。昨年度のシンポジウムでは「ESDとは何か?」を学び模索することが中心でした。

本年度はESDを通じて大学が、コミュニティ・地域社会に対して何ができるか、どんな協働関係を構築できるかを主眼に、ESDをさらに深め、具体化させる企画へとさらにグレードアップしました。国内外から実践的に地域社会との関連でESDと格闘している方々をお招きし、その叡智と経験から学ぶとともに、本学部が地域・地球社会から問題を汲み取り、地域とともに体験／対話／協働しながら今後の教育研究を進める糧にしたいと考えています。

また秋には、「国連ESDの10年」の最終年会合が名古屋・愛知で開催されます。このシンポジウムが、その成功に向けた重要な一環となるよう、学部一丸となって尽力したいと考える次第です。

日時: 2014年 2月8日(土) 13:30~17:30

会場: 名古屋市立大学 滝子キャンパス1号館 201教室 (裏面の地図参照)

パネリストと演題: クレメンス・マダー氏 ESD in the university-regional community interface (大学と地域社会をつなぐESD)

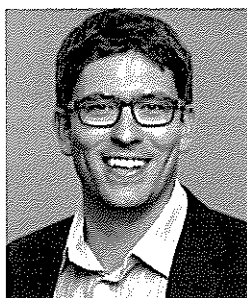
朴 泰潤 氏 The Education of Green Lifestyle for Korean Citizen (韓国市民のグリーン・ライフスタイル教育)

小金澤 孝昭 氏 ESDと人づくり・地域づくり

真鍋 和博 氏 北九州まなびとESDステーションにおける大学横断型実践的ESD教育の展開

阪井 芳貴 氏 大学と博物館とのESD的連携の試み

- マダー氏と朴氏の報告は英語、他の方の報告は日本語でなされます
(通訳はありませんが、事前にすべての報告の日本語版と英語版を準備・配布します)。
- 質疑応答は通訳を介して行います。



クレメンス・マダー氏
(Clemens Mader)
1980年オーストリア生まれ。
専門: ESD。ドイツ・リュネベルグ大学客員教授。グラーツESD地域拠点カリキュラム委員会メンバー。



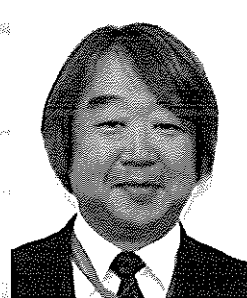
朴 泰潤 氏 (パク・テユン)
1959年生まれ。専門: ESD、環境教育。韓国・延世大学、教育学研究科教授。韓国環境教育学会副会長。



小金澤 孝昭 氏
1952年生まれ。専門: 地理学。富城教育大学教授、国際理解教育研究センター長。仙台広域圏ESD・ROE運営委員会委員長。



真鍋 和博 氏
1970年生まれ。専門: 教育社会学、キャリア教育。北九州市立大学基礎教育センター教授、地域創生学群長、地域共生教育センター長。



阪井 芳貴 氏
1957年生まれ。専門: 沖縄学、日本民俗学。名古屋市立大学人間文化研究科教授、人間文化研究所長。

主催・問合せ先: 名古屋市立大学 人文社会学部
〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町の畑 1
TEL: 052-872-5808 E-Mail: esd@hum.nagoya-cu.ac.jp

連携協力: ESDユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会



どなたでも
ご自由に参加ください
入場無料
事前申し込み不要
先着 200名

2013年度 名古屋市立大学 人文社会学部 国際シンポジウム

ESDと大学2

持続可能な地域社会のために

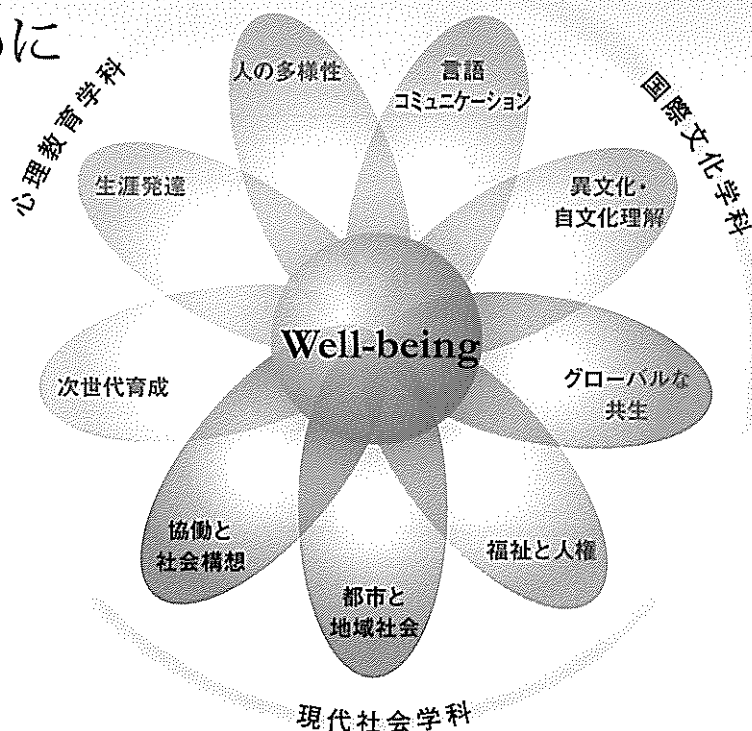
日時: 2014年 2月8日(土)

13:30~17:30

会場: 名古屋市立大学

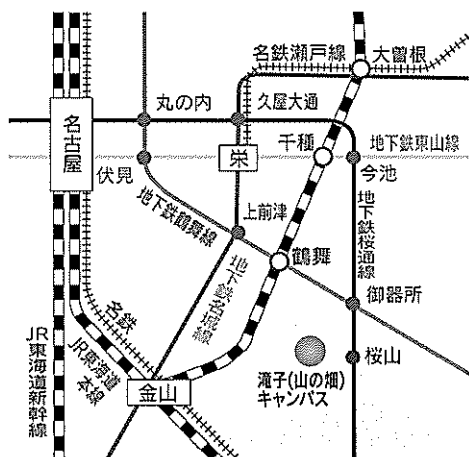
滝子キャンパス1号館 201教室

名古屋市立大学
人文社会学部ESD



会場へのアクセス

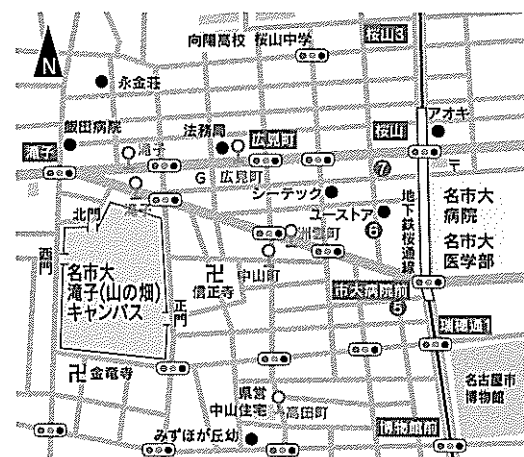
● 名古屋駅から桜山駅までの経路図



地下鉄桜通線桜山駅下車10分

- 地下鉄
桜通線「桜山」駅下車
⑤⑥⑦番出口から徒歩12分
- 市バス
金山駅金山⑦のりばより
金山11・12・16「滝子」下車
金山駅金山⑨のりばより
金山14「滝子」下車
〒467-8501
名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1
TEL 052-872-5808

● 桜山駅から滝子キャンパスまでの地図



平成25年11月27日

愛知学長懇話会 会員 各位

愛知学長懇話会 代表幹事

愛知学長懇話会主催 ESD大学生リレー・シンポジウムにおける
「あいちESD大学生アワード」への学生参加のお願い

2014年に「ESDユネスコ世界会議」が、愛知・名古屋で開催されます。

ESDとは、持続可能な開発・発展（SD）を担う人材を育成することにより、愛知学長懇話会では、学術の向上発展や新しい時代と社会に生き、貢献できる人材を育成することを責務とする大学に課せられた課題であると考えています。

また、開催地である愛知県内の大学間連携機関として、同会議の成功に向けた貢献を期待する機運も高まってきております。

そこで、同会議で取り扱うテーマのうち、各大学で取り組んできた教育・研究活動をこの機会に発表し、多くの方に理解していただくとともに、特に、大学生の視点から考え、学び、議論することを通じ、持続可能な未来を構想できる人材、即ち、ESDの視点を持った活力ある人材を育成することを目的に「ESD大学生リレー・シンポジウム」を開催します。

同シンポジウムでは、下記のとおり、開催会場ごとに大学生のプレゼンテーションを行い、「あいちESD大学生アワード」を決定していくこととしておりますので、学生の方々の参加に関しご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

1	名 称	「あいちESD大学生アワード」 ※正式名称は、開催校により異なる可能性があります。
2	趣 旨	ESDは、「持続可能な社会づくりのための人材育成」であり、その中心となる大学生が、様々な実践や研究を通じ、ESDの概念を理解し、それを発表する舞台を提供することでさらなる成長を期待し、持続可能な未来を構想できる人材を育成することを目的に大学生によるプレゼンテーションを行います。
3	参加方法	会場校ごとにテーマを設定し、該当する会場校にてプレゼンを行います。 参加方法は、「あいちESD大学生アワード」の開催に際し、協働する特定非営利活動法人アスクネットまでエントリーシートに必要事項を記入の上、申し込んでください。（別紙参照）
4	実施概要	開催大学ごとに実行委員会を組織し、優れた発表に対し、「あいちESD大学生アワード」を贈ります。詳細は、別紙を参照願います。

愛知学長懇話会主催 ESD大学生リレー・シンポジウム
「あいち ESD 大学生アワード」実施概要

1 実施日程及び会場及びテーマ

	テーマ	開催日	開催場所	担 当
1	「生物多様性・農と持続可能性」 【農業と食料安全保障】 【生物多様性】	平成 26 年 1 月 11 日（土）	中部大学 名古屋キャンパス	中部大学
2	「人々の暮らしと持続可能性 ①」 【まちづくり】 【持続可能な中山間地域の活性化】	平成 26 年 4 月 12 日（土）	愛知大学 豊橋校舎	愛知大学
3	「エネルギーと持続可能性」【エネルギー】	平成 26 年 5 月～6 月（予定）	名古屋工業大学	名古屋工業大学
4	「経済と持続可能性」 【グリーン経済（貧困撲滅の文脈における）】 【持続可能な生産と消費】	平成 26 年 7 月 5 日（土）	名古屋市立大学 さくら講堂	名古屋市立大学
5	「人々の暮らしと持続可能性 ②」 【まちづくり】 【持続可能な都市と人間居住】	平成 26 年 7 月 12 日（土）	名古屋学院大学 白鳥学舎	名古屋学院大学
6	「災害と持続可能性」 【防災協働社会】	平成 26 年 8 月 23 日（土）	名古屋大学 豊田講堂他	名古屋大学
7	「人々の暮らしと持続可能性 ③」 【健康（保健）】	平成 26 年 9 月 27 日（土）	愛知学院大学 日進キャンパス	愛知学院大学

2 募集スケジュール

- [1 月 11 日開催：中部大学] 募集期間：11 月第 5 週～12 月 12 日（木）締切
- [4 月～6 月開催：愛知大学，名古屋工業大学] 1 月下旬募集開始 ⇒ 実施 1 ヶ月前締切
- [7 月～9 月開催：名古屋市立大学，名古屋学院大学，名古屋大学，愛知学院大学]
4 月募集開始 ⇒ 実施 1 ヶ月前締切

3 説明会及び研修

- ・ 1 ヶ月前説明会（開催校にて実施）
- ※中部大学の説明会は，12 月 16 日（土）17 時を予定
- ・ 研修 （1 時間＋3 時間程度）

4 参加（エントリー）方法

愛知学長懇話会リレー・シンポジウム開催に際して、協働する特定非営利活動法人アスクネットの下記メールアドレスまでエントリーシートに必要事項を入力の上、送信してください。

その後、参加及び説明会のご連絡はアスクネットから行います。
アスクネットメールアドレス：aichi.esdaward2014@gmail.com
※参加申込は担当教員からお願い致します。

5 発表（プレゼンテーション形式）

1) 時間・構成（参加大学生数に準拠し時間設定を行う）

- ・プレゼンテーション 7分～10分
- ・審査員からの質疑応答 3～7分
- ・合計 10分～15分程度

2) 内容

- ・イニシャルストーリー（概要）
- ・なぜ、その実践がESDといえるのか？
- ・どのような成果が生まれたのか？
- ・その実践から見える未来、ビジョン、夢は？
- ・多様なセクターとのつながり

3) 形式

- ・パフォーマンスや劇など、プレゼンテーションの表現方法は自由。
- ・動画やアニメーションなども視覚的なものも活用可。

6 審査方法（開催校ごとに表彰者を決定する。）

1) 審査基準（例）

※会場大学ごとに審査基準を設定して頂くことも可能です。

ただし、参加者への説明会前までにお知らせください。

- ・テーマにおける実践内容・研究内容の成果
- ・プレゼンテーションのわかりやすさ
- ・ESDの事例としての適合性
- ・今後の将来性・可能性がどれだけ感じられるか。

2) 審査員

審査員は、原則各開催校が選定する。

3) 審査方法

審査基準にそった採点と合議による審査とする。

- ・点数による採点
- ・集計結果をもとに審査員で合議し決定

[注釈]

- ・「あいちESD大学生アワード」開催に当たり、参加学生には一部運営協力をお願いすることがあります。
- ・開催方法等は各会場により異なります。
- ・参加学生が多いテーマでは予選会を行います。

主催：愛知学長懇話会

各会場校協力：特定非営利活動法人アスクネット

あいちESD大学生アワードエントリーシート

大学名 (学部・研究室・担当教員名)	
当日参加者 (メンバー)	
研究者 (メンバー)	
連絡先 (代表者)	教員) 氏名 携帯 E-mail
	学生) 氏名 携帯 E-mail
ESD分野/会場大学	「人々の暮らし系①まちづくり」 愛知大学豊橋キャンパス
研究テーマ	
プレゼン「タイトル」 (任意)	
実践概要/研究概要 (課題設定)	研究を進める上で、何を課題として設定し、どう取り組んでどのような成果を期待しているか？
ビジョン (ESDにおける提案)	「持続可能な地域・社会」に向けて、この研究や実践がどうつながって行くのか？その夢やビジョンをお書きください。
特記事項 (研究・実践のポイント、 特徴、受賞歴など)	
プレゼンテーション形式 及び使用機材について (会場大学に依頼するものは 明確にお願いします、)	(会場大学に依頼するものは明確にお願いします、)

【記入例】 あいちESD大学生アワードエントリーシート	
大学名 (学部・研究室・担当教員名)	ESD大学 農学部 生物環境学科 ○○研究室 (教員名)
当日参加者 (メンバー)	田中太郎 斉藤良子 岡本信長
研究者 (メンバー)	
連絡先 (代表者)	教員) 氏名 携帯 E-mail
	学生) 氏名 携帯 E-mail
ESD分野/会場大学	「人々の暮らし系①まちづくり」 愛知大学豊橋キャンパス
研究テーマ	「土壌有機炭素 (腐植物質) の長期動態の解明」
プレゼン「タイトル」 (任意)	「日本における土壌環境のミライ」
実践概要/研究概要 (課題設定)	研究を進める上で、何を課題として設定し、どう取り組んでどのような成果を期待しているか？
ビジョン (ESDにおける提案)	「持続可能な地域・社会」に向けて、この研究や実践がどうつながって行くのか？その夢やビジョンをお書きください。
特記事項 (研究・実践のポイント、 特徴、受賞歴など)	
プレゼンテーション形式 及び使用機材について (会場大学に依頼するものは 明確にお願いします、)	(会場大学に依頼するものは明確にお願いします、)

超小型EV、眠気覚ます座席

二十三日から一般公開が始まる東京モーターショーでは、東海地方のベンチャー企業や研究者も意欲作を展示している。車体の前部にドアがある超小型電気自動車や、ドライバーの眠気覚ましになる運転席など、ユニークな発想が来場者の目を引きまわった。（大田 鉄弥）

岐阜県関市の「D Aeri（ティアーアト）」などベンチャー企業三社が公開した二乗りの超小型電気自動車は、ドアが車体の側面ではなく前部にあるのが特徴。全長二・四メートルに対して直角に停車して乗り降りする想定だ。縦列駐車に比べて場所を取らず、駐車スペースが狭い観光地での利用に最適という。航続距離は百キロ、充電用のカプリンエンジンを使えばさらに五十キロ走れる。二〇一四年中に百万円程度での市販を目指している。

名古屋市長大大学院の横山清子教授（工学）は、内装部品メーカー「ティ・エステック」（埼玉県朝霞市）などと共同で、眠くなるドライバーを起す運転席を開発した。眠くなると呼吸が深くなり、おくびでりて

戦後の物資不足でトムが乱れる点に着目。座面のセンサーが圧力変化で呼吸パターンを捉え、「眠そう」と

判断すれば腰部分のモーターが振動する。眠気感知は大手メーカーも開発にしのぎを削り、目の開きを車内カメラで監視して変化を捉える方法が主流

だ。しかし、横山教授が眠気を平均で四分ほど早く検知できたとい



呼吸パターンから眠気を感じて起してくれるティ・エステックの運転席

い、「個人差がある顔アビリティしている。

芸術工学研究科における「居眠り運転を防ぐ自動車用シートの開発」

平成25年11月23日
中日新聞（朝刊）

平成25年11月20日
読売新聞（朝刊）

呼吸の状態からドライバーの眠気を察知して刺激を与え、居眠り運転を防ぐ自動車用のシートを、名古屋市立大学の横山清子教授（人間工学）の研究グループと、自動車部品メーカー「ティ・エス・テック」（埼玉県朝霞市）などが共同開発した。数年後に発売予定の国産車への採用が決まっているという。東京ビッグサイト（東京都江東区）で開かれる東京モーターショー



●名古屋市立大などが開発した居眠り防止シート

座席ブルブル、居眠り運転防止

名市大などが共同開発

で23日から一般に展示する。

市立大によると、シートには、ドライバーが深呼吸やあくびをしたり、呼吸の間隔に変化が現れたりする様子を感じ取るセンサーを設置。眠気と闘っている状態と判定されれば、内蔵したモーターで背もたれを振動させ、目を覚まさせる仕組みだ。

車載カメラに映る表情から判定していた従来の方法に比べ、眠気の察知は4分程度早いといい、18人を対象にした実験でも全員の眠気を正確に判定できた。

横山教授は「開発した技術では、眠くなってきたのを早い段階で察知し、振動により、ストレスを感じさせることなく眠気を解消できる。居眠り運転による死亡事故の減少につながれば」と話している。

生物多様性研究センター2013 年度報告書

1. 組織

名誉センター長 杉浦昌弘
センター長 森山昭彦
センター員 熊澤慶伯、木藤新一郎、湯川泰、鈴木善幸、村瀬香、村瀬幸雄
センター研究員 市原俊、小木曽学、川瀬基弘

2. 活動

2.1 多様性研究センターセミナー

生物多様性研究センターの主催セミナーを継続的に開催しています。

- ・第24回セミナー (5月22日)
「貝類の多様性と分類 -形態分類からDNA分類まで-」
川瀬 基弘 氏 (愛知みずほ大学)
- ・第25回生物多様性研究センターセミナー (7月30日)
「稲の耐冷性の育種と遺伝」
加藤 明 氏 (元北海道農業研究センター)
- ・第26回生物多様性研究センターセミナー (9月19日)
「ウミガメ類の繁殖生理」
柿添 裕香 氏 (名古屋港水族館)
- ・第27回生物多様性研究センターセミナー (11月13日)
「日本の翼足類化石」
市原 俊 氏 (名古屋市立大学システム自然科学研究科研究員)
- ・第28回生物多様性研究センターセミナー (1月8日)
「同種を好み異種を嫌う『好み』の進化を司る神経基盤を探る」
石川 由希 氏 (名古屋大学理学研究科助教)

- ・第29回生物多様性研究センターセミナー (12月12日)
「神経幹細胞の制御による大脳皮質進化のメカニズム」
鈴木 郁夫 氏 (ブリュッセル大学)、石川 由希 氏 (名古屋大学理学研究科助教)
- ・第30回生物多様性研究センターセミナー (1月8日)
「非天然型アミノ酸の組み込みを経由するタンパク質機能のデザイン」
横川 隆志 氏 (岐阜大学工学研究科教授)

2.2 生物多様性センター講習会 (2013.9)

フィールドデータの取扱いについて、統計解析の基本講習会を行いました。
講師：村瀬 香



2.3 生物多様性センターミニバザー & 特別科学展示・研究成果発表

大学祭に合わせて、バザーと研究展示・成果のポスター発表を行いました。
(2013.12)



2.4 社会贡献活動

森山昭彦：種同定システムとしてのDNAバーコーディング、なごや生物多様性保全活動協議会第9回定例会、2013.6

鈴木 善幸：教育講演「病原体の遺伝子解析-解析からわかること-」，衛生微生物技術協議会第34回研究会、名古屋市中心企業振興会館（吹上ホール）名古屋、2013.7.

森山昭彦、市原俊：チリモンからみる海の生物多様性とDNAバーコード、環境デ
ーなごや2013（にブース出展）、2013.9



鈴木 善幸：ウイルス研究の最近の話題。ウイルスを知る～インフルエンザウイルスから内在性ウイルスまで～、名古屋市立大学平成25年度市民公開講座、名古屋、2013.10

木藤新一郎：温度と植物の生活、サイトカフェ（名城公園フラワープラザ）2013.12

村瀬 香、森山昭彦：生物多様性研究センター、DNA バーコーディングに関する活動、なごやの生きもの調査報告会（熱田神宮 文化殿講堂）2014.2

2.5 ホームページの全面更新

センターの発進力を高めるために、ホームページの全面更新を行い、新たにコラムページなどを新設しました。



3. 研究実績

3.1 総説 (査読有)

Masayuki Hori, Yuki Kobayashi, Yoshiyuki Suzuki, and Keizo Tomonaga (2013) Comprehensive analysis of endogenous bornavirus-like elements in eukaryote genomes. Philosophical Transactions B, 368:20120499.

3.2 原著論文 (査読有)

Yoshiyuki Suzuki and Yuki Kobayashi (2013) Evolution of complementary nucleotides in 5' and 3' untranslated regions of influenza A virus genomic segments. Infection, Genetics and Evolution. 13:175-179.

Yoshiyuki Suzuki (2013) Detection of positive selection eliminating effects of structural constraints in hemagglutinin of H3N2 human influenza A virus. Infection, Genetics and Evolution. 16:93-98.

Yoshiyuki Suzuki: Predictability of antigenic evolution for H3N2 human influenza A virus. Genes & Genetic Systems 2013, 88:225-232.

Ichiro Okita, Kaori Murase, Toshiyuki Sato, Kimihiko Kato, Akihiro Hosoda, Mamoru Terayama, Keiichi Masuko (2013) The Spatial Distribution of mtDNA and Phylogeographic Analysis of the Ant Cardiocondyla kagutsuchi (Hymenoptera: Formicidae) in Japan. Sociobiology. 60(2), 129-134.

Takuma Kurachi, Kaori Murase, Yudai Nishide, Satoshi Koyama, Toshiyuki Satoh (2013) Association of SNPs in the dopamine transporter gene SLC6A3 with attention deficit hyperactivity disorder in beagle dogs. Animal Behavior and Management. 49(3): in press.

川 瀬 基 弘、西尾 和久、森山 昭彦、市原 俊 (2014) 名古屋市で発見されたヒロウトマイマイ類. なごやの生物多様性 1:1-14

北岡大知, 大津直子, 村瀬香, 小俣良介, 中島健太, 林敦, 鈴木創三, 仲井まどか, 横山正, 木村園子 ドロテア (2014) 化学肥料および発酵鶏糞堆肥が茶葉の窒素含量とカンザワハダニの発育に与える影響. 有機農業学会誌. (印刷中)

3.3 総説 (査読無)

小林 由紀、鈴木 善幸：ウイルスの多様性. 遺伝子図鑑 (国立遺伝学研究所「遺伝子図鑑」編集委員会 [斎藤 成也、荒木 弘之、角谷 徹仁、小林 武彦、高野 敏行] 編集)、悠書館、2013、22-23.

小林 由紀、鈴木 善幸：遺伝子頻度の変化. 遺伝子図鑑 (国立遺伝学研究所「遺伝子図鑑」編集委員会 [斎藤 成也、荒木 弘之、角谷 徹仁、小林 武彦、高野 敏行] 編集)、悠書館、2013、154-155.

3.4 学会、ワークショップ等

Kaori Murase, Koichi Endo, Izumi Watanabe, Takahiro Sugi, Sonoko D. Kimura, Reiko Hori, Taeko Wakahara, Takashi Gomi (2014) How to handle information from small samples. International symposium, "Radionuclide dynamics and biological transfers in watershed ecosystems: Toward watershed management in the post nuclear accident period". Tokyo University of Agriculture and Technology.

Yoshiyuki Suzuki : Detecting natural selection from the comparison of synonymous and nonsynonymous substitutions. NIG Workshop: Evolution of Junk DNAs, National Institute of Genetics, Mishima, Japan, June, 2013.

鈴木 善幸：How can we predict the future? 国立遺伝学研究所研究会「新機能獲得の分子進化」、三島、2013.8.

栗崎政希、Pierre Jonniaux、松原和純、熊澤慶伯：RNA-Seq データから脊椎動物の分子系統解析に繋げるためのパイプラインの構築. 日本進化学会第15回大会、筑波大学 (つくば市)、2013 年 8 月 28 日-31 日 (30 日、口頭発表)

孫珪、栗崎正希、熊澤慶伯：爬虫類ミトコンドリア RNA の構造多様性の網羅的探索。日本進化学会第 15 回大会、筑波大学（つくば市）、2013 年 8 月 28 日-31 日（29 日、口頭発表）

松原美恵子 鈴木善幸、松原和純、森山昭彦、Ataуда, Seranath B. P. コブラ毒素サイトトキシン遺伝子の加速進化。日本進化学会第 15 回大会、筑波大学（つくば市）、2013 年 8 月 28 日-31 日（29 日、口頭発表）

森山 昭彦、川瀬 基弘、市原 俊、熊澤 慶伯: DNA バークフィンガーによる種同定の応用可能性、日本進化学会第 15 回大会、ワークシヨップ、筑波大学（つくば市）、2013 年 8 月 28 日-31 日（30 日、口頭発表）

大津直子、北岡大知、村瀬香、林敦、鈴木創三、仲井まどか、小俣良介、中島健太、横山正、木村園子ドロテア（2013）化学肥料および発酵鶏糞堆肥が茶葉の窒素含量とカンザワハダニの発育に与える影響。日本土壤肥料学会、2013.9

横山悠理、木藤新一郎: PHD finger をコードするシロイヌナズナの遺伝子 At4g23860 の機能解析 第 36 回日本分子生物学会年会 演題番号: IP-0029 (2013.12.03-06 神戸ポータルアイランド)

応夢超、永井里美、木藤新一郎：オオムギの新規低温応答遺伝子 HiA1 の発現解析 第 36 回日本分子生物学会年会 演題番号：IP-0030 (2013.12.03-06 神戸ポータルアイランド)

三浦陽子、鈴木美恵子、景山節、森山昭彦：オオクチバスペプシンの構造と機能相関、第 84 回日本動物学会(2013.9.26-28)27 岡山大学

田島謙二、田中豪、鈴木美恵子、森山昭彦、吉田育弘：L 錐体の遺伝的多様性と色識別に関する四原色ディスプレイを利用した実験、日本色彩学会 視覚情報基礎研究会第 17 回研究発表会、工学院大学新宿キャンパス、2013 年 9 月 14 日

大津直子、北岡大知、村瀬香、林敦、鈴木創三、仲井まどか、小俣良介、中島健太、横山正、木村園子ドロテア（2013）化学肥料および発酵鶏糞堆肥が茶葉の窒素含量とカンザワハダニの発育に与える影響。日本土壤肥料学会、

村瀬香 農薬による遺伝的多様性減少過程と、復元パターンごとの回復過程の推定。第 58 回日本応用動物昆虫学会大会（高知大学）2014.3

村瀬香、濱口京子 伊藤嘉昭先生から学んだ、紳士で真摯な精神性。温故知新・昆虫生態学の先輩から学ぶ（2）、伊藤嘉昭先輩と愉快な仲間達。第 58 回日本応用動物昆虫学会大会（高知大学）2014.3

オーガナイザー：
隅山 健太、野澤 昌文、鈴木 善幸：国立遺伝学研究所研究会「新機能獲得の分子進化」、三島、2013.8

熊澤慶伯、伊藤元己：ワークシヨップ「DNA バークフィンガーで何ができるか」、日本進化学会第 15 回大会、筑波大学（つくば市）、2013 年 8 月 28—31 日（29 日）

村瀬香農薬と個体群構造が、遺伝的多様性と集団履歴に与える影響。名古屋大学害虫制御学研究室研究集会、2014

村瀬香 震災事故前後の身体症状変化に関する解析。名古屋大学害虫制御学研究室研究集会、2014

4. 研究費

平成25年度名古屋大学特別研究奨励費（学内公募分）
「DNA バーコードデータベースの充実と環境調査への応用」 （500 千円）
科研費（研究成果公開促進費）H25 年度採択課題
「DNA バーコードデータベース」(JBOL-DB) 代表海老原淳
(2600 千円：うち名古屋市大 生物多様性研究センター分 (¥743 千円))